

行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さん自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことを思う出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、ご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までご連絡ください。

【お問い合わせ等の連絡先】

山梨大学医学部附属病院 看護部 集中治療室 飯嶋彩子

メールアドレス：iayako@yamanashi.ac.jp

2019年5月27日（研究機関の長の許可日）から2020年12月31日に、当院救急外来に来院された方へ

研究の題名：救急外来で心肺蘇生法（Cardio pulmonary resuscitation：CPR）を必要とする患者家族のニード

研究期間：研究機関の長の許可日 2019年5月23日～2025年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部附属病院 看護部 集中治療室 看護師 飯嶋彩子

山梨大学医学部では、上記題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録など）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

研究の目的は、救急外来に胸骨圧迫など心肺蘇生法を実施しながら搬送され、蘇生された患者さんのご家族に対し、救急外来での対応や待ち時間の中で感じた思いなど自由に語っていただき、ご家族のニードや想いを明らかにする。

研究の意義は、救急領域におけるご家族のニードを明らかにすることで、救急外来に心肺蘇生法を実施され搬送された患者さんのご家族の思いに沿った看護実践ができ、救急領域における看護の質を向上させるために有効であると考え実施する。

【研究の方法について】

心肺蘇生法を実施し搬送され、蘇生後の患者さんのご家族を対象に、入院後1週間ほど経過し、インタビューが可能と判断されたご家族に対し、救急外来受診中のニードや想いについてインタビューを行い、内容を分析します。また、ご家族から同意が得られた患者さんの情報を救急外来経過記録より情報収集します。COVID-19感染拡大防止のため、電話にてインタビューを行うか、換気ができる部屋で間隔を空けインタビューを実施する。

【利用する情報について】

<対象となる患者さん>

2019年5月23日から2022年12月31日の間に、当院救急外来に心肺蘇生法を実施し搬送され、蘇生された患者さん

<利用する情報・項目>

情報：患者の救急外来診療録情報、ご家族のインタビュー実施時に語られた内容

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学の研究者のみです。

【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは、個人が特定できないようにデータを加工（匿名化といいます）した上で、統計的処理を